

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームかねぐすく

作成日 : 平成 24 年 10 月 21 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメント、計画書、担当者会議、モニタリングが不十分。個々の役割りがなく全体的なサービス内容になっている。会議開催や計画書作成にずれがある。	心身の変化、利用者の役割りや目標が位置付けできるように計画書の作成、評価を定期的に行っていきます。	アセスメント、チェック表の記録を確実に行う。担当者会議の定期的な開催。利用者の個性を活かした計画書の作成をチームで考えていきます。	6ヶ月
2	4	運営推進会議は定期的に2カ月1回、利用者、家族、行政職員、地域自治会、民生委員の構成員の参加のもと開催しています。開催時に向けて資料準備や内容に不満と手間取ることがある。会議をもっと意義深いものにする必要性を感じる。	構成員の皆様からの意見や情報交換により、利用者様のより良い支援と地域密着型機能が活かせる施設運営に努めていく。	年間事業計画、地域交流行事の参加状況。職員の研修や勉強会、防災訓練についての情報交換など、又、日常のヒヤリハット、事故報告内容についても情報を共有できる機会にしていきます。	6ヶ月
3	35	防火避難訓練は年2回実施していますが、地域住民を巻き込んだ支援体制には至っていない状況。地震や水害時の訓練も行う必要がある。	災害から利用者や職員の身体保護、生命の安全が図られるようにしなければならない。防火避難訓練に限らず、台風や地震災害にも目を向け、地域住民も巻き込んだ支援体制を整えるようにしていきます。	災害マニュアル、地域連絡網の作成により、兼城ハイツ自治会、住民参加の協力。年2回以上の総合訓練の実施(夜間想定)又、職員の意識向上の為、ビデオ勉強会を定期的で開催していきます。避難場所、備蓄の確保。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。